

■千宗旦 茶人。千家第3世。千利休の孫。仕官せずに千家の再興に努め、現代に続く千家茶道の家元を確立した。
せんのそうたん
上杉謙信没・1578＝ 千利休の後妻宗恩の連れ子であった少庵宗淳と利休の娘亀女の子に生まれる。道安の子とも言われる。

本能寺の変・1582＝ 4歳：

バテ追放令 1587＝ 9歳：この頃、祖父利休の意により大徳寺に入り、春屋宗園に喝食として侍し、
のち、得度して庵主となる。早くから詩文をよくして将来を囑目されたが、
秀吉全国統一1590＝12歳：
土農工商公布1591＝13歳：祖父利休の悲劇があり、父少庵は会津の蒲生氏郷に預けられる。道安は飛騨預けになったらしい。
文禄の役・ 1592＝14歳：長男宗拙が誕生。
方広寺大仏殿1593＝15歳：次男宗守が誕生。
ルツ島通交・ 1594＝16歳：父少庵が千家再興を許されるとともに還俗、秀吉から利休遺愛の茶道具を賜る。道安は秀吉の茶頭に復帰。
26聖人殉教・1596＝18歳：

関ヶ原の戦い・1600＝22歳：この頃、*少庵より家督を譲られ、本格的な茶会活動をはじめる。

徳川家康隠居1605＝27歳：

家康駿府退隠1607＝29歳：この年、道安が死去。子が無かったため、堺千家は断絶。
・ ・ ・ ・ ・ 1608＝30歳：春屋宗園から授与された床掛け物で茶会。

大坂冬の陣・1614＝36歳：父少庵が死去。

徳川家康没・1616＝38歳：
元和偃武の時代を迎えると、小堀遠州による“きれいさび”の茶がもてはやされるようになるが、
・ ・ ・ ・ ・ 1618＝40歳：宗見を後妻に迎える。この頃、*時代を逆行するかのように、一畳半座敷を作り、侘び茶の宣揚を図る。
菱垣廻船始・1619＝41歳：三男(江岑宗左)が誕生、

元和大殉教・1622＝44歳：四男(仙叟宗室)が誕生。

徳川家光将軍1623＝45歳：
経済的に不如意であったが、祖父利休の悲劇をかえりみて、みずからは権勢に仕えず、大徳寺の代々の住持の金銭的支援を受けながら、息子たちの就職活動に熱心に取組む。

徳川秀忠没・1632＝54歳：将軍が死去するのを見計らったように、三男の就職運動を開始、
鎖国令Ⅰ・ 1633＝55歳：三男を江戸に送り出す一方、新築の一畳半座敷に、太閤近衛信尋を迎えて茶会を開く。

参勤交替始・1635＝57歳：三男の就職がうまく行かないため、自ら江戸に下向して奔走、身体を壊す。

以後、度々御成りとともに、大徳寺長老の引立てでや、沢庵から柳生宗矩に紹介され、

寛永飢饉始・1640＝62歳：*古筆了佐を相伴に、近衛信尋を迎えて茶会を開き、返礼の招待も受けるなどして、名声が高まり、
家光鎖国完成1641＝63歳：
初の高札・ 1642＝64歳：三男がようやく紀州徳川家に有りつき、宗左と名乗る。

・ ・ ・ ・ ・ 1645＝67歳：医者野間玄琢に弟子入りしていた四男宗室が帰ったのを機に、*不審庵を三男江岑宗左に譲り、隠居。
・ ・ ・ ・ ・ 1646＝68歳：北裏に今日庵、さらに又隠を建て、以後、宗室とともに暮らす。
・ ・ ・ ・ ・ 1647＝69歳：この年、次男がようやく宗守を名乗る。

慶安御触書・1649＝71歳：東福門院花入れを献上し、気に入られて、感激する。
御蔭参流行・1650＝72歳：
徳川家光没・1651＝73歳：
承応事件・ 1652＝74歳：四男宗室が加賀小松前田家に有りつく。就職に奔走してきた長男宗拙が身体を壊し、無職のまま死去。

宗旦は京衆の墮落した茶の湯を嫌って独り茶を楽しむようになり、文字通り茶禅一味の侘茶に徹した。

弟子四天王も仕官したり、自立して、千家茶道の繁栄が約束されたなか、

明暦の大火・1657＝79歳：
人身売買禁止1658＝80歳：没した。
こののち宗左が4世となり、その系統が表千家流に、仙叟の系統が裏千家流に、また次男宗守は官休庵を建てて武者小路千家流の初代となった。

田中稔「千宗旦」,「没年日本史人物事典」,平凡社百科事典,インターネット,